

地方独立行政法人大阪産業技術研究所

平成29事業年度の業務実績に関する評価結果の概要

大阪府商工労働部中小企業支援室ものづくり支援課

地方独立行政法人大阪産業技術研究所の毎事業年度の業務実績は、地方独立行政法人法の規定に基づき、知事（設立団体の長）が評価を行うことから、平成29事業年度の業務実績に関する評価について、大阪府市地方独立行政法人大阪産業技術研究所評価委員会の意見を踏まえ、次のとおり決定した。

全体評価「全体として年度計画及び中期計画のとおり進捗している」

○大項目評価

4つの大項目においてA評価（「計画どおり」進捗している）、1つの大項目においてB評価（「おおむね計画どおり」進捗している）が妥当であると判断した。

○評価コメント

新法人として、多様化・高度化する企業の技術課題やニーズに対応するため、技術支援、支援研究及び人材育成等に積極的に取り組み、企業の課題解決に貢献するとともに、「知的財産ポリシー」や「新人事評価制度」を策定するなど、統合後の中小企業の支援体制や内部管理体制の整備を着実に進めていることは、評価に値する。引き続き、和泉センターと森之宮センターの優れた技術力や強みを融合して技術支援や研究開発に取り組み、顧客満足度の向上や新たなサービスの拡充に努め、研究開発から製造までの一気通貫の支援、利用サービスのワンストップ化など、法人統合によって可能となる支援サービスの向上に積極的に取り組んでいくことを期待する。

住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上	1	S	A	B	C	D	知的財産の創造、保護等に資する知的財産ポリシーを策定し、実践研修による職員の知財マインドの向上に取り組むとともに、特許管理・調査・評価システムを活用した取組などにより、計画どおり進捗していることが認められた。
	2	S	A	B	C	D	技術開発から製品開発まで支援する高度受託研究と共同研究を実施し、プレ研究制度の活用による利用者の利便向上を図り、企業と行う公募型共同開発事業で新たなテーマの採択などに取り組んだことから、計画どおり進捗していることが認められた。
	3	S	A	B	C	D	申請手続等のワンストップ化を推進するとともに、研究成果の論文等の投稿、研究シーズ・成果の見える化などに取り組んだことから、計画どおり進捗していることが認められた。
業務運営の改善及び効率化	S	A	B	C	D	顧客情報ネットワークによる和泉・森之宮センター間の顧客情報の共有化には至らなかったが、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定、時間外労働縮減などに取り組んだことから、おおむね計画どおり進捗していることが認められた。	
財務内容の改善及び効率化 その他業務運営に関する重要事項	S	A	B	C	D	事業収入の確保、財務基盤の強化と効率的な予算執行を計画的に行い、個人情報の適正管理などに取り組んだことから、計画どおり進捗していると認められた。	

<評価区分>

S：特筆すべき進捗状況 A：計画どおり B：おおむね計画どおり
C：やや遅れている D：重大な改善事項あり